

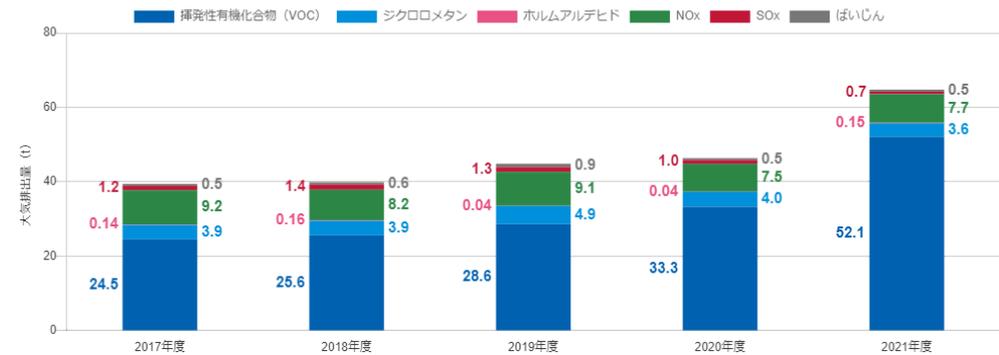
大気汚染防止

日本化薬グループでは、大気汚染防止法対象の物質や有害大気汚染物質、その他の大気汚染物質に分けて注意しながら管理しています。2021年度は、一部の溶剤で不純物を除去するために曝気処理を行っていたことで、VOC排出量が増加しています。有害大気汚染物質については、（一社）日本化学工業協会を中心に自主管理対象12物質^{※1}を定め、排出量削減の取り組みを行っています。12物質中、当社が1995年度以降に使用しているのは5物質で、ベンゼンについてはすでに1995年に製造工程での使用を中止しています。クロロホルム、エチレンオキシドは、2007年度以降はすべて排出量ゼロとなっています。なおジクロロメタンおよびホルムアルデヒドについては、若干量の排出が続いています。今後も工程改良等を進めることで、ジクロロメタンとホルムアルデヒドにつきましては、使用量削減を主な対策として、排出量削減に向けた取り組みを続けてまいります。その他大気汚染物質としてSOx（硫黄酸化物）^{※2}、NOx（窒素酸化物）^{※3}およびばいじん^{※4}はボイラーの稼動時に排出されます。当社は、これまでにボイラーの燃料をC重油から硫黄分含有量の少ないA重油、さらには硫黄分のないLPG、天然ガスに順次転換しており、SOxの排出量は、2008年度より減少しています。今後も引き続き、大気汚染防止設備の適切な維持管理、定期点検および保全を実施し、大気汚染物質排出量抑制に努めてまいります。

大気排出

指標	対象範囲	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
揮発性有機化合物（VOC）	単体	トン	24.5	25.6	28.6	33.3	52.1
ジクロロメタン	単体	トン	3.9	3.9	4.9	4.0	3.6
ホルムアルデヒド	単体	トン	0.14	0.16	0.04	0.04	0.15
NOx	単体	トン	9.2	8.2	9.1	7.5	7.7
SOx	単体	トン	1.2	1.4	1.3	1.0	0.7
ばいじん	単体	トン	0.5	0.6	0.9	0.5	0.5

大気排出



- ※1 自主管理対象12物質：アクリロニトリル、アセトアルデヒド、塩化ビニルモノマー、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、1,3-ブタジエン、ベンゼン、ホルムアルデヒド、エチレンオキシドが該当
- ※2 SOx（硫黄酸化物）：硫黄分が含まれる化石燃料等を燃焼させることにより発生、硫黄酸化物は空気中の水分と反応し硫酸や亜硫酸を生じるため大気汚染や酸性雨の原因となる
- ※3 NOx（窒素酸化物）：物質が燃焼する際に空気中の窒素と反応して生じる場合と石炭等の窒素化合物を含む燃料や物質が燃焼した場合に発生する場合がある、光化学スモッグ等の大気汚染、酸性雨の原因だけでなく人体の呼吸器等に悪影響がある
- ※4 ばいじん：化石燃料の燃焼等に伴い発生するばい煙のうちの固体粒子（すす）、大気汚染の原因となるほか高濃度のばいじんを吸入した場合は人体に塵肺等、悪影響がある